

## パパたちの本音アンケート

---

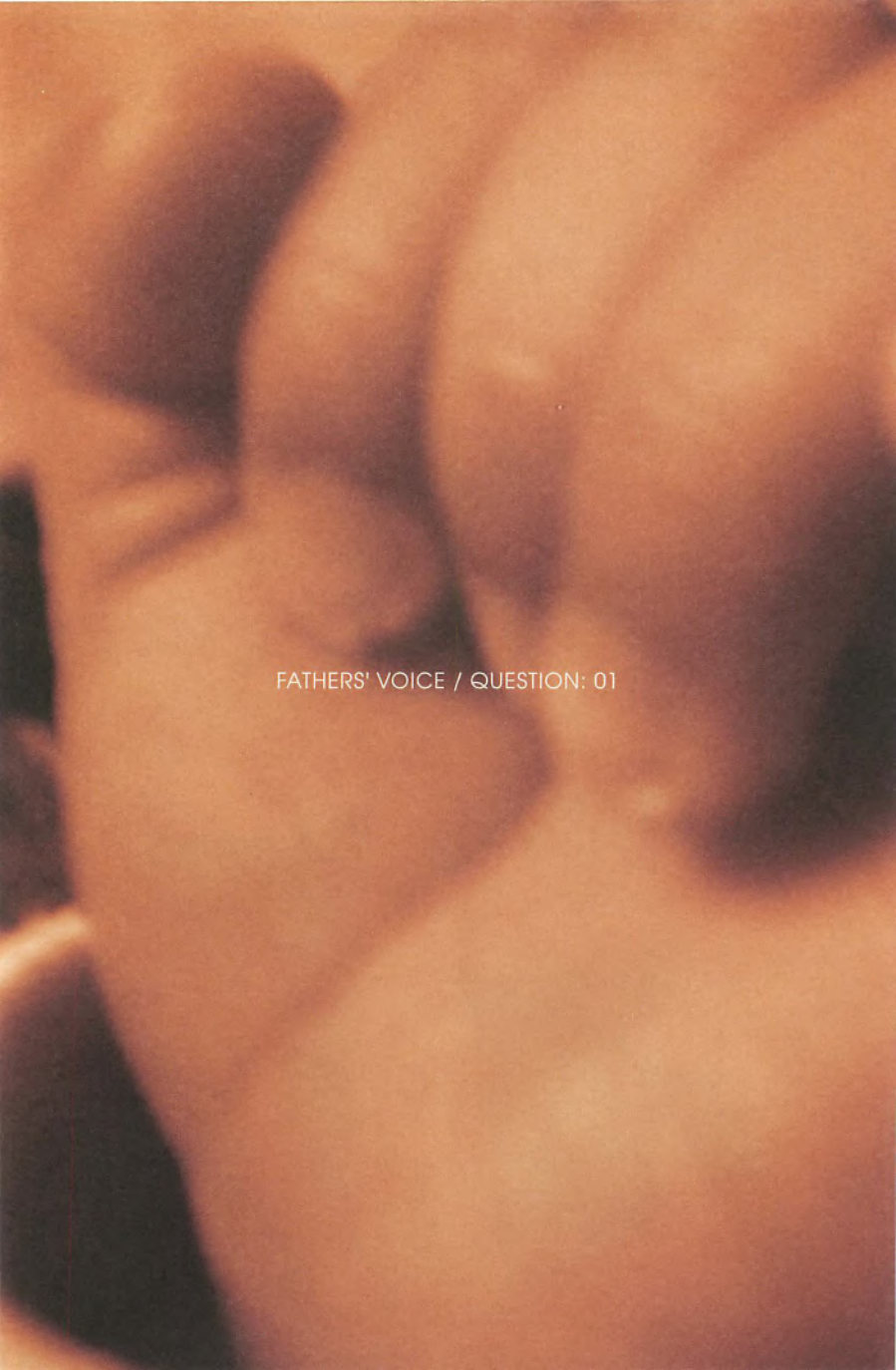
*The Questionnaire To Fathers*

## FATHERS' VOICE


世の中のお父さんたちは、  
どんな気持ちでパパしているんだろう？

お父さんたちが語ってくれた、  
子どもへの想い、そして、妻への想い。





FATHERS' VOICE / QUESTION: 01



「子どもができた」という事実  
を初めて知ったとき、どんな  
気持ちでしたか？  
何を考えましたか？

How did you feel when you knew your wife was pregnant?

QUESTION: 01

「子どもができた」という事実を初めて  
知ったとき、どんな気持ちでしたか？  
何を考えましたか？

How did you feel when you knew your wife was pregnant?

Fathers' Voice: 01

結婚もしていなかったので、ビックリした。ただ、嫁は以前から「結婚したい」「子どもがほしい」と言っていたし、それ相応の行為をしていたわけで、「ついに来たか」という感覚かな。でも宝くじに当たったとか、そういうスーパーハッピーな感じでもない。「げっ」っていうちょっとイヤな気分も含んでいると思う。自分のプランというか気持ち的には、1年後とか2年後を考えていたし。喩えるなら、結婚式のスピーチを頼まれたときの感じに似ているかも。光栄で祝ってあげたいんだけど、マジで？ みたいな。そのあと考えたことは、どうやって相手の両親に伝えるのか、とか生活費が足りるのかとかそういったことかな。

東京都在住 ライター 28歳 (息子1歳)

Fathers' Voice: 02

まだ結婚してなかったので、これで結婚できるなと思った。まだ若かったし嫁は年上だし、何かきっかけがないと結婚できそうもなかったし。だから漠然と嬉しかったです。

奈良県在住 ウェブデザイナー 32歳 (娘9歳)

Fathers' Voice: 03

もう何年も前の話になるけど、産婦人科の検査から戻った妻が、「子ども・・・できてた・・・」って、号泣しながら言っているのを聞いて、すごく感動したのを覚えているね。率直な感想としては、「あ～、いよいよ来たな」っていう感じだったと思う。妻のお腹もまだ大きくないし、まだ全然実感はなかったけど、男かな？ 女かな？ とかすごく楽しみだったし、「名前も決めなきゃな」

とか、「妊娠中に注意すべきこととか調べなきゃ」とか、「金銭面の具体的な計画も立てねば・・・」とか、じっくりと感動に浸るっていうよりは、意外とすぐに現実的なことを考えていました(笑)。

沖縄県在住 自由業 32歳 (息子2歳、娘3ヶ月)

Fathers' Voice: 04

純粹に、家族が増えるのが嬉しかったと思います。あと、妻に対してもそれまでに増して愛おしさを感じましたね。これから2人で、親として子どもに接していくということに強い連帯感を感じたと思います。

東京都在住 システムエンジニア 32歳 (息子5歳、娘2歳)

Fathers' Voice: 05

何物にも変えられぬ喜びを感じ、母子の無事な出産だけを祈り、願い続けました。名前を何にしようか！ たくさんの時間を使って考えました。

神奈川県在住 自営業 45歳 (娘9歳、6歳)

Fathers' Voice: 06

まずびっくりしました。自分に子どもができると想像すらしたことがなかったから。そして男かな女かな、と考えました。徐々に嬉しさが込み上げてきました。

埼玉県在住 接客販売業 38歳 (娘2歳、息子1歳)

Fathers' Voice: 07

単純に嬉しく思いました。私の中でももちろん、その事実喜び

ましたが、妻が大変喜んでいたことが一番嬉しかった！ようやく一人前になれるのかな？とも感じたし、それと、早く子どもを抱きしめたいと思いました。

東京都在住 土木コンサルタント 35歳 (娘4歳、息子2ヶ月)

Fathers' Voice: 08

大喜び！でした。頭の中で拳握ってガッツポーズ・・・花火もあがっていたね。父親になるってことに不安はなかった。子どものため、家族のためならがんばれるから。「男か女か・・・そんなことはどーでもいいよ。人として何一つ欠けることなく元気に産まれておいで」。子どもができたって聞いたとき、それが我が子への最初の想いでした。

神奈川県在住 電気技術士 29歳 (息子7歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 09

願っていたから本当に嬉しかった。  
自分にとって以上に、妻にとって良かった！と思った。  
自称超能力者に、子どもはできない、と言われ気にしていたから。

兵庫県在住 会社経営 46歳 (娘3歳)

Fathers' Voice: 10

結婚前に妊娠が発覚。自分が作った「命」に対して強烈な責任感を感じた。

当時、就職したてでお金も無かった為、即座に思ったことは買ったばかりの新車を売るしかないってことかな。

神奈川県在住 介護福祉士 26歳 (息子5歳、1歳)



Fathers' Voice: 11

ついに親になる。だが、親ってどんなだろうか？

東京都在住 不動産会社勤務 40歳 (娘7歳、息子5歳)

Fathers' Voice: 12

「うおおおー————？！ やったなー！！ おめでとう！ 仲間が増えるね！」という狂喜乱舞の叫びと、「えええええー————？！ 僕、まだ父親検定に合格してないよー、心の準備もまだできてないよー、おまえだけ先に母親になるなよー、おいていかないでくれよー！」というひじょーに情けない叫びとが入り乱れた感じ。

大阪府在住 NPO法人理事長 31歳 (娘1歳)

Fathers' Voice: 13

知ったときは、余裕だった。おめでとうって感じだった。その後、ひとつひとつ、現実問題を考えていったら、ビビり、不安が一気に襲ってきた。

静岡県在住 ミュージシャン 29歳 (息子8ヶ月)

Fathers' Voice: 14

マジでびっくりした。思わず妹に相談したよ。23歳で一児の父親になったから信じられなかった。

北海道在住 配管工 31歳 (息子8歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 15

妊娠したことを奥さんに告げられたとき、正直、「なにが起きた

のか」よくわからなかったな。もちろん、子どもが欲しいと思っていたし、心の準備もできているつもりだったけど、そのことが現実になった瞬間に、頭の中がぼーっとして、地に足が着いていないような、ふわふわとした不思議な感覚に襲われたのを、今でも覚えている。それはきっと、戸惑っているとか、嬉しくないとか、そういうことじゃなくて、今までの人生の中で、それと比べることができるような経験が、一度もなかったからだと思うんだよね。

「子どもができた」という、あの奥さんのセリフは、俺の人生の中でも、それほどインパクトの強い一言だったな。

沖縄県在住 デザイナー 29歳 (娘3歳、1歳)

Fathers' Voice: 16


驚き。「子ども〜！」と切望して授かったわけではなかったのに、知らせを聞いたときは、思わぬごほうびをもらった感じだった。美緒（妻）が、机の下から妊娠検査のスティックを取り出したんだけど、それがちょうど、プレゼントを取り出されたような感じだった。「赤ちゃんがいるんだよ！」と聞いて、予想以上に自分が嬉しかったことにも驚いた。あっけにとられた。わくわくした。夢のようだった、ツワリガクマデハ。

妊娠6ヶ月くらいのときに、もう名前を付けて呼んでいただけだけど、そのコの、「りょう」の顔が頭にポンと浮かんだので、似顔絵をかいた。大人の姿でかいてしまったので、正解かどうかはまだわからない。

東京都在住 編集者 31歳 (娘1歳)



FATHERS' VOICE / QUESTION: 02



子どもが生まれ、父親になってみて、自分の中で一番変わったことはなんですか？

What is the biggest difference in yourself since you became a father?

QUESTION: 02

子どもが生まれ、父親になってみて、  
自分の中で一番変わったことはなん  
ですか？

What is the biggest difference in yourself since you became a father?

Fathers' Voice: 01

児童虐待とか、子どもが死んだりするニュースを聞くと、マジで泣きそうになる。怒りも感じる。子どもが産まれる前は、他人事だったけど、自分の子どもに置き換えて考えたり、とにかく心に響いてくる。それから、自分の両親を大事にするようになったかも。やっぱり子ども育てるのって大変だし、自分もそうやって育てられたんだってことにビックリする。たぶんこれはみんな感じるんじゃないかな。あとは、そんなに変わらない気がする。自分ではわからない部分も多いけど。自分の中での話じゃないけど、働く時間が長くなった。子どもが産まれたからというよりは、結婚したからなのかもしれないけど・・・。

東京都在住 ライター 28歳 (息子1歳)

Fathers' Voice: 02

ようやく親の気持ちがわかるようになったし、自分より大事な存在がはっきりとできた。あとはあんまり変わらないけど若いのに子どもがいるっていうので周りの見方が変わった。「実は子どもおるねん」ってギャップを楽しんでいます。

奈良県在住 ウェブデザイナー 32歳 (娘9歳)

Fathers' Voice: 03

俺の場合は、父親になったことで、自分の価値観っていうか、目指していくカッコよさみたいなものが大きく変わったと想う。結婚するまでは、「ひとりの男として」、カッコいい生き方みたいなものを追求していたけど、結婚したことで、「夫として」が加わって、子どもが産まれたことで、「父親として」が加わって、今

は、「男としても、夫としても、父親としても、カッコいい人になりたい」って思うようになってるね。それにあわせて、自分の中で、リスペクトする人の質も変わってきていて、やっぱり、社会的には大活躍しているけど家庭は崩壊してるような人とかリスペクトできなくなったし、子どもたちの世代に少しでも美しい自然を残していくのが自分たちの世代の責任でもある、なんてことを真剣に感じ始めたのも、子どもができたことが大きいね。

沖縄県在住 自由業 32歳 (息子2歳、娘3ヶ月)

Fathers' Voice: 04

両親への感謝の気持ちですかね。同じような思いだったのかなと思うとなんとも言えないです。

友人の結婚式に出席すると、つつい新郎新婦より彼らの両親の気持ちになってしまいます・・・。

東京都在住 システムエンジニア 32歳 (息子5歳、娘2歳)

Fathers' Voice: 05

今まで、自分の中で受け入れられなかったことも、すべてにおいて受け入れていこうと、考えるようになったこと。

神奈川県在住 自営業 45歳 (娘9歳、6歳)

Fathers' Voice: 06

子どもが好きになりました。親戚の子どもを見てもなんとも思わなかった自分が、よその子も可愛いなと思えるようになりました。

埼玉県在住 接客販売業 38歳 (娘2歳、息子1歳)

Fathers' Voice: 07

親の気持ちが実感できるようになり、涙腺が緩くなり・・・、世の中の子どもの悲惨なニュース等を見るととても悲しくなるようになった。

自分の両親に対しても、素直になりましたね。

東京都在住 土木コンサルタント 35歳 (娘4歳、息子2ヶ月)

Fathers' Voice: 08

子どもは、産まれるだけで夫婦を親にする、そんな親孝行をするんだなあって思ったときから子どもが自分の夢になり、子どもの夢を共に見ようと思ったことです。

神奈川県在住 電気技術士 29歳 (息子7歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 09

発想の根本は自分自身だったけど、今は家族が根本にある。だから、旅する場所や過ごし方が変わった。それはそれでとても新鮮で楽しい。

それから、家にいる時間が長くなった。子どもと時間を過ごすためというのもあるけど、妻を少しだけ子どもから解放してあげるため、というのもある。

兵庫県在住 会社経営 46歳 (娘3歳)

Fathers' Voice: 10

大好きなケーキを子どもに「食べなよ」と譲れるようになったこと。

神奈川県在住 介護福祉士 26歳 (息子5歳、1歳)



Fathers' Voice: 11

家族のことも考えるようになった。

東京都在住 不動産会社勤務 40歳 (娘7歳、息子5歳)

Fathers' Voice: 12

「ああ、父親になったんだ。意識を変えなきゃ。自分を変えなきゃ」という気持ち。父親としての自覚は自然に芽生えるものではない。勝手に父親になるのではなく、「父親になる」という覚悟と意識が必要だなあ、と感じた。街のなかで、きれいな子を目で追うことよりも、子どもを目で追うことの方が増えた。

大阪府在住 NPO法人理事長 31歳 (娘1歳)

Fathers' Voice: 13

変わったっていうか、子どもが産まれて、本当の自分に戻った気がする。

静岡県在住 ミュージシャン 29歳 (息子8ヶ月)

Fathers' Voice: 14

自分ではわかんないなあ……。人には大人しくなったって言われる。

北海道在住 配管工 31歳 (息子8歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 15

やっぱり、子どもができて一番に感じたのは、「自分の両親」に対しての感謝の気持ちだね。今まで、カッコつけて親への気持ちを口にすることはあっても、本当に心の底から強く想ったことは

なかったような気がする。でも、子どもができて、実際に「親」になってみると、自分が子どもたちへしてやりたいなどと思うことの多くが、昔、「両親が俺に対してしてくれたこと」だったことを思い出すんだよ。

子育てをしてみると、本当にたくさんの「自分が子どもだった頃の記憶」が呼び覚まされる。その度に両親への感謝の気持ちは強くなっていく。おかげで、今はごく自然に、両親への想いを口にできるようになったね。

沖縄県在住 デザイナー 29歳 (娘3歳、1歳)

Fathers' Voice: 16

「早く家に帰ろう」という発想が初めてわいた。


自分一人のため、美緒(妻)と二人のための時間が圧倒的に減った。それまで以上に、美緒と自分とをワンセットとして考えるようになった。どうやっても俺よりも美緒の方が、りょうに掛ける時間は多くなる。特にりょうが3ヶ月くらいまでは、「美緒とりょうの二人っきりでい続けること」のストレスはすごいものがあった。ので、何とか美緒に息抜きをしてもらえないかなという策をいつも考えていた。母のストレスは家を暗くするもんね。

顔を洗ったり、風呂に入ったり。そういう「生活のために費やす時間」がドーンと増えた。スゲー早起きしないと自主練もできない(笑)。一方で、仕事の場合は常に時間を短縮していくことを考えるけど、子どもと過ごす、家族と過ごす時間だけは唯一「節約しなくていい時間」だなあ、と最近思う。どんだけもたもたしてもいい。りょうと美緒と一緒に何かしているのであれば、それでいいと思う。

東京都在住 編集者 31歳 (娘1歳)



FATHERS' VOICE / QUESTION: 03



「父親になってよかったな」。  
そう実感するのは、どんなときですか？

What occasion do you feel pleasure for being a father?

QUESTION: 03

「父親になってよかったな」。  
そう実感するのは、どんなときですか？

What occasion do you feel pleasure for being a father?

Fathers' Voice: 01

自分の両親が、子ども（孫）を可愛がっているのを見たとき。初孫だし、ホントに嬉しそう。見たこともないような表情や態度をとるから、新鮮だし、こっちまで幸せな気分になる。あとは、子どもが必死になって抱きついてくるとき。なかなかあんな全身全霊で愛されることはない。この小さな命を守らなければと思う。それから、子どもがこうやって育つんだってわかるから、親のありがたみが身にしみてわかる。言葉で「親のありがたみ」って言われても全然実感できないけど、実際に産まれてみると、「あっ、こういうことなんだ」って実感できた。それは貴重な人生経験だと思う。

東京都在住 ライター 28歳（息子1歳）

Fathers' Voice: 02

子どもから教わることが多かったり、子どもがいるから助けられることが多い。自分が未熟者だから僕を助けるために子どもが産まれてきてくれたんだなと思うことがある。あとは可愛い寝顔が見れること。

奈良県在住 ウェブデザイナー 32歳（娘9歳）

Fathers' Voice: 03

う～ん、根本的には、いつも想っているな。シンプルに、子どもたちの存在自体が、今の自分にとっての強烈なエネルギー源でもあるし。でも、父親としての実感っていう意味で、最初に頭に浮かんでくるシーンは、やっぱ、1歳の息子に、「とうた～ん、とうた～ん」（父ちゃん、父ちゃん）って、初めて呼ばれたときのことかな。なんかわかんないけど、じわっとディープに感動したの

を覚えている。あとは、あいつらの寝顔見てれば、「俺もがんばるべ」って思うし、何かをできるようになって喜んでる姿を見ると、俺も嬉しくなるし、これからも、ずっとずっと、共に成長していきたいなって想っている。

沖縄県在住 自由業 32歳 (息子2歳、娘3ヶ月)

Fathers' Voice: 04

成長していく子どもたちの姿を見られるのが何よりも嬉しいです。毎日の子どもの成長に喜びを感じます。あと、子育てを通じて子どもに教えられることが多いです。

東京都在住 システムエンジニア 32歳 (息子5歳、娘2歳)

Fathers' Voice: 05

「おとうさん」って呼ぶ声の中に、愛情と信頼を感じる瞬間。

神奈川県在住 自営業 45歳 (娘9歳、6歳)

Fathers' Voice: 06

「パパ、パパ」って子どもたちがなついてくるときかな。本当にかわいいよ。

埼玉県在住 接客販売業 38歳 (娘2歳、息子1歳)

Fathers' Voice: 07

何と言っても、子どもに「パパ！大好き！」と言ってもらった瞬間ですね。

次に、父親になってと言うより、子どもが産まれて家族の距離が近づいたことかな？ 子どものおかげで姉や義弟とも近づけた気

がします。常に笑いがあるしね！

個人的には、環境問題、教育、福祉なんて問題もさらに意識するようになれたし、今までが子どもすぎたのかもしれないけど、我慢強くなれたことかな？

東京都在住 土木コンサルタント 35歳 (娘4歳、息子2ヶ月)

Fathers' Voice: 08

子どもが楽しそうに遊んでいるとき、笑っているとき、あまえてくるとき、大きくなったなあって嬉しく思うとき、寝顔にいたずらしているとき、この子たちと過ごしていけるという現実、たくさんあるけど、やっぱりアレだな、子ども(家族)の為に何かをやりとげた後の「おとーさんありがとー!」。オヤジの元気の素だね。

神奈川県在住 電気技術士 29歳 (息子7歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 09

寝顔を見てるときかな？

言葉にならないとおしさを感じるし、がんばろうと思える。

兵庫県在住 会社経営 46歳 (娘3歳)

Fathers' Voice: 10

子どもに頼られているなと感じたとき。

例えば・・・外出先で一瞬姿の見えなくなった俺を、「父ちゃ〜ん!!」と必死に探している姿を見たとき。「俺も父親なんだな・・・」と実感。

神奈川県在住 介護福祉士 26歳 (息子5歳、1歳)



Fathers' Voice: 11

子どもがかわいいと思えるとき。

東京都在住 不動産会社勤務 40歳 (娘7歳、息子5歳)

Fathers' Voice: 12

帰宅したとき、子どもがおぼつかない歩みと、たどたどしい話し方で「パパおかえりー」と玄関に走り出て迎えてくれる瞬間かなあ。ありきたりか？普通すぎるか？キャラじゃないか？

大阪府在住 NPO法人理事長 31歳 (娘1歳)

Fathers' Voice: 13

正直よくわからない。でも、息子の笑顔を見ると、心の底からパワーが湧いてくる。

静岡県在住 ミュージシャン 29歳 (息子8ヶ月)

Fathers' Voice: 14

「パパ大好き」って言われるときです。あと、子どもたちが笑っているときもかな。

北海道在住 配管工 31歳 (息子8歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 15

単純に、「俺を心底愛してくれる人間」と「俺が心底愛する人間」が増えたことが嬉しかった。結婚して、子どもができるということは、父親として家族というものを「背負う」ということでもあるけど、その「背負う」という言葉が持っているネガティブなイメージとはまったく別の場所に「家族」というものは存在している気がする。確かに背負っているし、ときには「お荷物」でもあ

る子どもたちだけど、こいつらは俺にその重さの何百倍ものHAPPYなエネルギーを与えてくれる。背負わされてるんじゃないんで、自分から喜んで背負っている子どもたちだから、その重さを感じる度に「父親になってよかったな」と思うね。

沖縄県在住 デザイナー 29歳 (娘3歳、1歳)

Fathers' Voice: 16

俺の当番は週に1回だけなんだけど、保育園にりょうを迎えにいくときはすごく楽しみ。りょうには気付かれないうように、保育室のガラス越しにりょうが遊んでいるのをしばらく眺めてから、声をかけます。犬が嬉しくておしっこしちゃうときがあるでしょう、あれみたいに、りょうは親の顔見ると、わあ〜んって、泣いちゃうんだよ。多分だけど、嬉しくて、ほっとしちゃうんでしょう。親の顔を見ることでりょう自身が「社会の顔」から「素のりょう」に戻ってしまうんだと思う。


赤ちゃんが何にもできないのは知っていたつもりだったけど、自分ひとりでは眠ることさえもできないのにはびっくりした。「ああ、人間て、最初はほんとに何一つできねえんだな」と実感した。それが寝返り打ったり、ウンチをしたりメシ食ったりできるようになっていく。そういうのを見ていると、自分を振り返る。赤ちゃんを見るみたいに自分を遠くから見てみると、「ああ、俺だって、いまだって、何にもできていやしないな」と感じる。

大人になるまでもなってるから、いろんな人に叱ってもらったり、ほめてもらったりしながら、自分っていうのは何とか周りに生かしてもらってるんだと、思うようになった。人に「ありがたいな」と思うことや、「この人はすごいな！」と尊敬することが多くなった。

東京都在住 編集者 31歳 (娘1歳)

A high-angle, close-up photograph of a person lying on their back on a grassy area. The person is wearing blue denim jeans and a white long-sleeved shirt. Only their legs, torso, and one arm are visible. The grass is green with scattered brown, dried leaves. The lighting is natural, suggesting an outdoor setting.

FATHERS' VOICE / QUESTION 04



逆に、「あ〜、もう父親なんて  
やってらんない！」と思うと  
きはありますか？  
それは、どんなときですか？

What occasion do you feel tough for being a father?

QUESTION: 04

逆に、「あ～、もう父親なんてやってらんない！」と思うときはありますか？  
それは、どんなときですか？

What occasion do you feel tough for being a father?

Fathers' Voice: 01

最近はないけど、もっと子どもが小さいときに、あやそうと思ってだっこしたら、全身全霊で拒絶されたことがある。大泣き、大暴れ。それで、母親がだっこすると、ぴたりと泣きやんだりする。そんなときは、マジでへこむ。ふてくされる。こっちが眠いのに、ぜんぜん寝てくれないとき。寝ろよって思う。それから、子どものうんこが超くさいとき。さらに、うんこつきのおむつを替えたあと、指がほんのりうんこくさいとやけを起こしたくなる。

東京都在住 ライター 28歳 (息子1歳)

Fathers' Voice: 02

それはない。いまだに自分が親父という感覚がないから (笑)。

奈良県在住 ウェブデザイナー 32歳 (娘9歳)

Fathers' Voice: 03

父親を辞めたいとまでは思ったことはないけど、腹が立ったり、ムカついたりすることなんて、しょちゅう！ 何度言っても言うこと聞かなかつたり、原因不明の泣き叫びを続けられたりすると、泣きたいのはこっちだよ！って思うよ、マジで。あと、子どもの世話がいろいろあって、仕事が思うように進められないときなんか、だいたいイライラしちゃうときあるなあ。まあ、そりゃ、子どもができる前と比べたら、日々、大変なこともいろいろ増えたけど、やっぱ、喜びや感動の方が何百倍も大きいよね。

沖縄県在住 自由業 32歳 (息子2歳、娘3ヶ月)

Fathers' Voice: 04

それはいいですね。良いときでも悪いときでも父親でいられることは幸せだと思います。

東京都在住 システムエンジニア 32歳 (息子5歳、娘2歳)

Fathers' Voice: 05

本気で思ったことはないけれど・・・年々、父(親)の言うことを聞かなくなると感じる時。

母は海のように深き愛。父は空のように広き愛。最終的に、深き愛の母親の味方をするときとか。

神奈川県在住 自営業 45歳 (娘9歳、6歳)

Fathers' Voice: 06

考えたことないな・・・。仕事で疲れて休日にゆっくりしたいときかなあ？あと、外出先でカップル見たときとか？(笑)

埼玉県在住 接客販売業 38歳 (娘2歳、息子1歳)

Fathers' Voice: 07

夫婦喧嘩のときに、常に自分が悪くなってしまうんですね。そんなときは面白くないですよ！それ以外はありません。

東京都在住 土木コンサルタント 35歳 (娘4歳、息子2ヶ月)

Fathers' Voice: 08

自分の時間がないって、思ったことはあるけど、「父親なんてや

ってらんない！」なんて思ったことはないな。多分自分も父親からそんな風に思われたことはないと思う。どんなに悪さしてもね。それって「父親放棄」だし、自分と子どもの存在、と言うか関係を否定することなんてできない。

神奈川県在住 電気技術士 29歳 (息子7歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 09

特にないけど、強いていえば、最後は母親を求めることかな。そのとき少し悲しい(笑)。

兵庫県在住 会社経営 46歳 (娘3歳)

Fathers' Voice: 10

散々遊んで、遊んで・・・それでも家に帰ってきた瞬間、「ママ～」って行ってしまうとき。「おいおい・・・。さっきまであんなに俺に甘えていたのに」。思わずふてくされます。

神奈川県在住 介護福祉士 26歳 (息子5歳、1歳)

Fathers' Voice: 11

自分の時間を持ちたいときに持てないとき。

東京都在住 不動産会社勤務 40歳 (娘7歳、息子5歳)

Fathers' Voice: 12

さすがにそれはないなあ。ただし、「やってらんない！」というより辞めさせられそうになることはある。仕事が続いてなかなか



家に帰ることができなくて、子育ての負担がすべて妻にかかったときなど。

大阪府在住 NPO法人理事長 31歳 (娘1歳)

Fathers' Voice: 13

好き勝手な時間を、すべて息子にとられて、妻も息子にとられて、なんて考えてしまっている状態のとき。

静岡県在住 ミュージシャン 29歳 (息子8ヶ月)

Fathers' Voice: 14

多分、心に余裕がないときかな？

北海道在住 配管工 31歳 (息子8歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 15

子どもって小さければ小さいほど、「欲求の固まり」みたいなものだし、絶えず100%で接してくるから、当然、大人の視点から見ると理不尽な言動や振る舞いをしまくるんだよね。ほんと日常茶飯事なんだよ。まあ、俺の機嫌がいいときはイイとしても、仕事がうまく進まないときとか、機嫌が悪いときなんかは、いつも「ああーやってらんねー！」って思ってたな。やっぱりはじめは自分自身にも「理想の父親像」みたいなものがあったしね。「何があっても怒らず、動じず」みたいな。でも、実際、俺自身もともとそういう人間ではないから、やっぱりうまくいなくて、その「理想と現実のギャップ」に、子どもたちへというよりは自分自身にいつもハラを立てていたな。でも、できもしない「理想像」を捨てて、「素の自分でこいつらに100%付き合っていこう」と

思うようになってからは、ずいぶん楽になった。怒りたければ怒る。笑いたければ思いっきり笑う。それでイイヤ、と思ったね。最近の俺の口癖は「俺は仏様じゃねーんだぞ、人間なんだよ！」だね。

沖縄県在住 デザイナー 29歳 (娘3歳、1歳)


Fathers' Voice: 16

なし。

東京都在住 編集者 31歳 (娘1歳)

A close-up, high-angle photograph of a young child's face. The child has dark hair and is looking slightly to the right. The lighting is soft, highlighting the texture of the skin and the intensity of the eyes. The text 'FATHERS' VOICE / QUESTION: 05' is centered over the child's eye.

FATHERS' VOICE / QUESTION: 05



子育てをしていくうえで、  
父親として大切にしているこ  
とはなんですか？

What is the most important for you as a father in bringing up your child?

QUESTION: 05

子育てをしていくうえで、父親として大切にしていることはなんですか？

What is the most important for you as a father in bringing up your child?

Fathers' Voice: 01

週末はできるだけ、仕事を入れないようにする。そして、いろいろなものを、ことを体験させてあげようと思う。将来何になるかはわからないけど、海に行ったり、山に入ったり、音楽を聴かせたり。だから、週末はどこかに連れて行く。あとは何でも自由にやらせようと思う。危険なことや、やってはいけないは最低限にして。うるさく言うのは、あいさつやマナーとかぐらい。

東京都在住 ライター 28歳 (息子1歳)

Fathers' Voice: 02

子どもと付き合うには子ども心が必要だから、変に大人になるんじゃない、子どもと対等でいたいということ。それを忘れて偉そうにしている親が多い気がする。一人の人間として認めてあげること。言葉で書くと簡単ですが、これがなかなか難しい。

奈良県在住 ウェブデザイナー 32歳 (娘9歳)

Fathers' Voice: 03

細かく言えばきりが無いけど、ひとつと言えば、やっぱり、俺の場合は、自分自身が毎日楽しく生きるってことだな。単純に、子どもたちが一緒に暮らしている父親を見て、「なんか、父ちゃん見てると、大人になるのって楽しそうだなあ」って感じてくれることが根本かなって思うし。子どもって感覚で生きているから、本当の意味でウソとかごまかしは通じないと思うし、やっぱ、一番身近にいる大人である親が、肌で触れ合いながら、背中で見せながら、生きることの楽しさみたいなものをダイレクトに伝えていきたいな、って思う。後は勝手に自分の道を選んで生きていこうしね。

沖縄県在住 自由業 32歳 (息子2歳、娘3ヶ月)

Fathers' Voice: 04

美しいものを美しいと感じられる心です。

東京都在住 システムエンジニア 32歳 (息子5歳、娘2歳)

Fathers' Voice: 05

子どもと散歩するときは必ず、つないだ手をスイングさせて歩く等のスキンシップ。より良い父子関係を追求する。

神奈川県在住 自営業 45歳 (娘9歳、6歳)

Fathers' Voice: 06

休日とか一緒にいられるときは、一緒にいて遊んであげること。子どもたちとの時間。

埼玉県在住 接客販売業 38歳 (娘2歳、息子1歳)

Fathers' Voice: 07

感情的にならないこと。日常の社会生活上でも清くいたいと思っています。醜い行いで得た利益で子どもにお菓子を買って与えるのは気が進まないの・・・。

躰においては、根底に愛情があることを理解させた上で叱ります。本当は何でも言うことを聞いてあげたいのですが・・・。娘の泣き顔を見るのが一番つらい。

東京都在住 土木コンサルタント 35歳 (娘4歳、息子2ヶ月)

Fathers' Voice: 08

『想い』を大切にしたい。人の想い、自分の想い、さまざま

な想いをしっかり受けとめられる感情や人格を大切に育てていきたい。そして共に成長していきたい。

神奈川県在住 電気技術士 29歳 (息子7歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 09

自分自身の生き方、感じ方、考え方。

子育ては、教えるというより、日々の暮らしを通して移っていくことだと思う。だから、ハッピーでいたいし、自分の心の声に忠実でいたいし、カッコいいオヤジでいたい。

兵庫県在住 会社経営 46歳 (娘3歳)

Fathers' Voice: 10

何をするときにも、「何かをさせている」「何かを与えている」という気持ちを持たないこと。とにかく一緒に真剣に楽しむ。子どもと一緒に思い出を作り上げていくことを大切にしているつもり。でも時々真剣のあまりにマジで切れてしまうこともあります。が・・・。

神奈川県在住 介護福祉士 26歳 (息子5歳、1歳)

Fathers' Voice: 11

正しいこと、姿、を見せていくこと。

東京都在住 不動産会社勤務 40歳 (娘7歳、息子5歳)

Fathers' Voice: 12

とにかく妻とのコミュニケーション。子どもが父親のことを好き



になるか嫌いになるか、尊敬するか、うっとうしく思うかは、妻が子どもに対して父親のことをどのように話しているかに大きく影響を受けると思う。「パパは本当にどうしようもないわね～」とか「あの見慣れないおじさんは誰でしょうね～」とか言っていると、きっと子どもはパパのことを「ママをいじめる悪いやつ」ということになって嫌いになる。妻から愛されているパパは必ず子どもからも愛される。

大阪府在住 NPO法人理事長 31歳 (娘1歳)

Fathers' Voice: 13

思っきり遊ぶこと。

静岡県在住 ミュージシャン 29歳 (息子8ヶ月)

Fathers' Voice: 14

難しいね。ん～アンケートの答えになるかわかんないけど、子どもたちにはパパなんだけど学校のことや部活、恋愛、イジメ、性、普通は親に言えないことを子どもたちと話したい。『教育』って子どもに「教える」って言うより「感じさせる」ことが大事だと思う。

北海道在住 配管工 31歳 (息子8歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 15

良いところも悪いところも含めて、「自分の100%」で接することかな。小さいときから自分の一番身近な人が本気で接してくれなかったら、こいつらが大きくなったときに、きっと友達とも恋人とも本気で向き合うことができなくなっちゃうと思うしね。そ

れは、すごく寂しいことだと思うんだよ。だから、まず俺自身が「本気で向き合うこと」が大切だと思ってる。


子育てって、数学みたいに決まった答えがない。どう育てるのが正しいのかなんて、誰にもわからないんだよ。だから、自分のやり方に対して、すごく不安になるときもあるけど、どんな不安に襲われても、必ず最後は自分で決断することになっている。その決断を他人や教育書に委ねて、その結果、子どもが自分の思ったように育たなかったとき、いったい誰のせいにするんだよ？ 自分の子どもだろ？ と思うし。自分の子どもだからこそ、自分で決断を下して、その決断に対してはきっちり責任を負う覚悟が必要だと思う。そう考えると、子育てってやつも、なかなか大変なことだよな。

沖縄県在住 デザイナー 29歳 (娘3歳、1歳)


Fathers' Voice: 16

りょう（娘）と、たくさん関わること。オムツ替えでも、ご飯作りでもいいから、りょうに（と）何かをともにすること。あとは、危険なこと意外では軽々しく「ダメ」って言葉を使わないこと、くらいでしょうか。

東京都在住 編集者 31歳 (娘1歳)



FATHERS' VOICE / QUESTION: 06



子どもが産まれる前と後で、  
妻への気持ち、妻との関係は  
どんな風に変わりましたか？

How did your feeling for your wife change, and also  
relationship with her, before childbirth and after?

QUESTION: 06

子どもが産まれる前と後で、妻への  
気持ち、妻との関係はどんな風に変  
わりましたか？

How did your feeling for your wife change, and also relationship  
with her, before childbirth and after?

Fathers' Voice: 01

妻になったときにすでに子どもがいたので、産まれる前は妻ではなく彼女。なので、ちょっとずれるかもしれないけど、やっぱり今は家族って感覚が強くなった。あと、うちは専業主婦なので、家事全般をやってもらっている。だから、何かと感謝することが多くなったと思う。

東京都在住 ライター 28歳 (息子1歳)

Fathers' Voice: 02

彼女から家族に変わりました。兄弟という感覚に近くなった。子どもが産まれてすっかりお母さんになっちゃいました。男はいつまでたっても子ども。母強し。

奈良県在住 ウェブデザイナー 32歳 (娘9歳)

Fathers' Voice: 03

妻が妊婦の時代から始まって、ふたりの子どもを育てている現在まで、同じ家で一緒に暮らしながら、すぐ横で、あれだけ膨大な時間やエネルギーを費やして、子どもたちに矛盾のないまっすぐな愛情を注いでいる妻の姿を見ていると、「この人、本当にすごいな」って心から思うよ。もちろん、夫婦ゲンカは、相変わらず日常茶飯事だけど、妻というひとりの女性に対して、結婚する前とは違った質のすごく深い部分でのリスペクトが産まれている気がする。一緒に子どもを育てていく中で、ふたりの絆みたいなものが深くなったのかもしれないけど、付き合い始めた10代の頃よりも、銀座OLだった20代の頃よりも、やっぱり、今の方が好きになってるもんね。出産、子育てという時間を重ねたことで、

「今回の人生は、最後までこの人と一緒に生きたい」という気持ちだが、さらに強くなったと想う。

沖縄県在住 自由業 32歳 (息子2歳、娘3ヶ月)

Fathers' Voice: 04

それまでに増して愛おしさを感じるようになったこと、そしてこれから2人で、親として子どもに接していくということに強い連帯感を感じたことに加え、家族になったと真に思いました。

東京都在住 システムエンジニア 32歳 (息子6歳、娘2歳)

Fathers' Voice: 05

感謝の気持ちの深まりと、パートナーとしての存在感の高まり。

神奈川県在住 自営業 45歳 (娘9歳、6歳)

Fathers' Voice: 06

名前と呼ぶより『ママ』って呼ぶ方が多くなったかな。妻は名前でも呼んでほしいみたいですけど、やっぱり、つい。妻への気持ちは今も昔も変わらないかな。

埼玉県在住 接客販売業 38歳 (娘2歳、息子1歳)

Fathers' Voice: 07

感謝、労わりの気持ちが持てるようになりました。そして、子どもの成長を感じるたびに妻の偉大さを実感します。子どもの為にも、自分より妻には元気でいてもらいたいと強く思います。

所詮、夫婦は他人？ といいますが、家族です。他人とは違いま

す。ありきたりですが、恋人から家族へ昇格？したかな。

東京都在住 土木コンサルタント 35歳 (娘4歳、息子2ヶ月)

Fathers' Voice: 08

回答不能。

神奈川県在住 電気技術士 29歳 (息子7歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 09

妻から母へと変わった。感謝の気持ちがより強くなった。

兵庫県在住 会社経営 46歳 (娘3歳)

Fathers' Voice: 10

結婚する前からお腹に子どもがいたため、「夫婦二人の結婚生活」を経験していません。子育てをしていく上では一番の協力者であり、最強のライバルだと思っている。最強の武器「おっぱい」を持つ母親に勝つための方法をいつも考えています……。結果は……。いつも惨敗。俺の子育てのモットーは「打倒おっぱい」です。

神奈川県在住 介護福祉士 26歳 (息子5歳、1歳)

Fathers' Voice: 11

1人目の子どもが産まれたことで、1番目から2番目、そして2人目の子どもが産まれたことで、3番目の存在となった。

東京都在住 不動産会社勤務 40歳 (娘7歳、息子5歳)



Fathers' Voice: 02

ますます感謝の気持ちが大きくなった。ただでさえ、仕事を最優先にする僕の妻をやることは精神的体力的に重労働なのに。

大阪府在住 NPO法人理事長 31歳 (娘1歳)

Fathers' Voice: 13

今までは、彼女という感じだったのが、妻と息子というワンセットになった感じで、いつの間にか、彼女は、ママになってしまった。

静岡県在住 ミュージシャン 29歳 (息子8ヶ月)

Fathers' Voice: 14

一番難しいな・・・。

多分、子どもが産まれる前より、信頼感は強くなっていると思う。

北海道在住 配管工 31歳 (息子8歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 15

「彼女」から「奥さん」に変わったときよりも、「奥さん」が「母親」に変わったときの方が、気持ちの変化は圧倒的に大きかったな。子どもが産まれるまでは、奥さんっていうのは彼女の延長のようなものだったけど、子どもが産まれたと同時に、俺の中に「自分の子ども」と、もうひとり「母親」という大きな存在が産まれたような感じがする。

「母親」としての奥さんには、もうリスペクトの一言。頭もあがらない状態だね。俺がどれだけ子どもたちを見ているつもりでも、俺の気が付かない、ほんの些細な子どもたちの変化に、いつも気

を配っている。そして、子どもたちにとっても、やっぱり、母親が一番の存在なんだよね。悔しいけどさ。でも、その悔しさが、そのまま奥さんに対してのレスペクトになっている気がする。奥さんとの関係は「母親」としての奥さんと「彼女」としての奥さんをしっかりわけて付き合っていきたいと思っている。やっぱり、「母親」であると同時に「女」であることを忘れてほしくないし、女性としてもいつも輝いていてほしいと思うしね。

沖縄県在住 デザイナー 29歳 (娘3歳、1歳)

Fathers' Voice: 16

つわりのときは、ほんとに人格が変わってしまったのかと思った。子を持った母が凶暴になるのは動物に限ったことではない、と思いました。でも、その時期は、あれくらい人とちゃんと向き合ったことはないだろうというくらいに、美緒とがっちり関わる事ができた。

りょうといると、ほんとに嬉しく、楽しいけれど、美緒も俺もお互い、自分のダメさ加減に打ちのめされることも少なくない。なんて欠けているところだらけの父なんだろうと思う。でもまあ、この人と一緒だったら何とかやっていけそう、と思う。

正直、お母さんになった美緒は少しだけ老けたのかなあと思うけど、以前とは違う感じでカワイいなあこの人は！と思うことは、前と同じくらいあるよ。

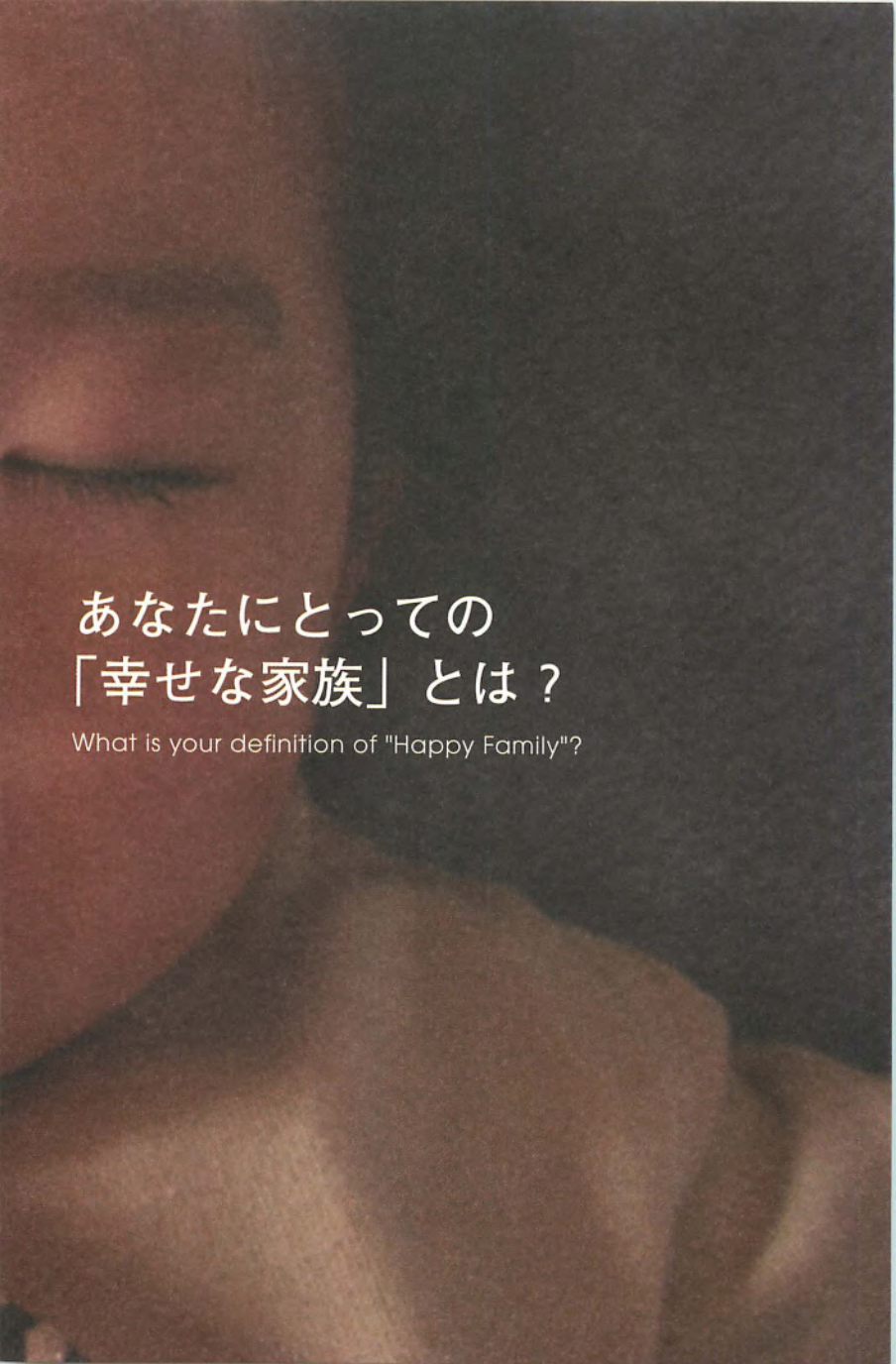
「愛は思いだ」と以前は思っていたけど、愛って行動じゃねえかと最近は感じています。

東京都在住 編集者 31歳 (娘1歳)

A close-up, intimate photograph of a young child's face, sleeping peacefully with their eyes closed. The lighting is soft and warm, highlighting the texture of the skin and the child's features. The child is wearing a white t-shirt with bold, black, sans-serif lettering. The text "FATHERS' VOICE / LAST QUESTION" is superimposed in a clean, white, sans-serif font across the middle of the image, positioned over the child's cheek and nose area. The overall mood is tender and contemplative.

FATHERS' VOICE / LAST QUESTION

WINTER WOOD



あなたにとっての  
「幸せな家族」とは？

What is your definition of "Happy Family"?

LAST QUESTION

あなたにとっての「幸せな家族」とは？

What is your definition of "Happy Family"?

Fathers' Voice: 01

うちの子供は大きな病気にかかっているし、自分の父親もそう。それに、自殺をテーマにした本を作って遺族のもとを回っていたりするので、とにかく全員が健康であることが何よりの願い。健康で毎日生きられるのが、幸せだと思う。あとは、くだらない冗談を言い合ったりして、楽しく暮らせればそれでいい。

東京都在住 ライター 28歳 (息子1歳)

Fathers' Voice: 02

ありきたりだけど一緒に暮らせること。

奈良県在住 ウェブデザイナー 32歳 (娘9歳)

Fathers' Voice: 03

子どもが大きくなれば、親と仲が悪くなる時期もあるだろうし、まあ、今後も、いろんなことがあるだろうけど、シンプルに、いつも向き合って生きていければ幸せかな、って思うね。そして、まだまだずいぶん先の話だけど、子どもたちが大人になったときに、「育ててくれてありがとう。自分は、今、幸せです」みたいな気持ちが聞けたら、妻とふたりで泣いちゃうんじゃないかな？ベタだけど、やっぱり、子どもの結婚式で涙する親のイメージ？う～、今から憧れる！（笑）。その後は、妻とふたりで、世界中をのんびりと旅でもしながら、孫をメチャクチャに可愛がりながら、素敵に枯れていきたいなっていう感じで・・・、まあ、幸せって、そういうベタなものでしょ。

沖縄県在住 自由業 32歳 (息子2歳、娘3ヶ月)

Fathers' Voice: 04

**独立心を持った思いやりのある集合体。**

東京都在住 システムエンジニア 32歳 (息子5歳、娘2歳)

Fathers' Voice: 05

**家族一人一人の存在が、「生きるエネルギーになる」ってことを、  
家族一人一人が認識(確認)できる共有の時間を持っていること。**

神奈川県在住 自営業 45歳 (娘9歳、6歳)

Fathers' Voice: 06

**例えば、自分がソファで昼寝していると、隣では子どもたちが  
本を読んだり、おもちゃで遊んでいたり、おやつ食べていたり、  
目覚めると子どもたちがいて会話して・・・。上手く言えないけど、  
家族が家族であること。でも結局なんだかんだいって自分が  
健康(元気)であることが家族にとって一番の幸せだと思います。**

埼玉県在住 接客販売業 38歳 (娘2歳、息子1歳)

Fathers' Voice: 07

**第一に、夫婦仲が良いこと！夫婦の間での嘘がないこと。  
家族みんなが、個々を尊重し認め合い、自然と互いを思いやる心  
を常に持てるようになればいいと思います。**

東京都在住 土木コンサルタント 35歳 (娘4歳、息子2ヶ月)

Fathers' Voice: 08

**結婚当初、両親が育んだ家庭のようになりたいと思った。別に裕**

福でもない、とりわけ優しい親でもない。でも、そんな想いがあった。たとえ気付くことがなくても、そんな風に我が子から想われる、それが「幸せな家族」なのかもしれませんね。今現在、幸せだと思います。でも、本当に幸せなのかは、しばらくときが経ってから解るのかも・・・。

神奈川県在住 電気技術士 29歳 (息子7歳、娘5歳)

Fathers' Voice: 09

まず、親が幸せであること。これが、子どもの幸せの大前提。笑顔や信頼や感謝のある家庭で育つ子は幸せ。だから、精一杯生きていることを楽しみたい。

兵庫県在住 会社経営 46歳 (娘3歳)

Fathers' Voice: 10

当たり前に家族が家にいて、当たり前で毎日が過ぎていく……。少々お金がなくても、家族そろって毎日過ごしている今がとっても「幸せ」。

神奈川県在住 介護福祉士 26歳 (息子5歳、1歳)

Fathers' Voice: 11

不幸のない生活。

東京都在住 不動産会社勤務 40歳 (娘7歳、息子5歳)

Fathers' Voice: 12

幸せな家族は父親、母親、子どものそれぞれがそれぞれを近い存



在だと感じられる状態だとおもう。父親は母親と比べた場合、どうしても子どもと時間的に長く過ごすことができないが、あきらめてしまわずに、短いながらも一緒にいられる時間をどうやって過ごすか、ということを考えて、とにかく子どもにインパクトを残すように努力すると、子どもはパパを遠い存在とは思わないと思う。妻からも子どもからも近い存在だと思ってもらえるならきっと僕は幸せ。

大阪府在住 NPO法人理事長 31歳 (娘1歳)

Fathers' Voice: 13

## ONE LOVE.

静岡県在住 ミュージシャン 29歳 (息子8ヶ月)

Fathers' Voice: 14

子どもたちの友達と同じぐらい話をしたいと思う。仕事が忙しいとか付き合いとかそんな言い訳をしない親でいようと思う。痛みのわかる親でいたら痛みのわかる子でいてくれると信じている。親子じゃなくて仲間的な感じの家族が俺の理想です。

北海道在住 配管工 31歳 (息子8歳、娘5歳)

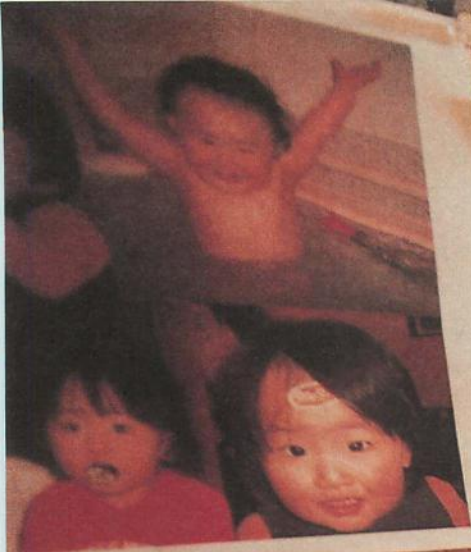
Fathers' Voice: 15

いわゆる「家族とはこうあるべき」みたいなルールに縛られることなく、自分たちの決めたルールで、共に歩いていける家族かな。でも、そんなカッコつけずに言っちゃえば、いつも子どもたちがニコニコ笑っていれば、それが幸せな家族なんじゃねーかな。それで十分だな。

沖縄県在住 デザイナー 29歳 (娘3歳、1歳)

「きょうさ、こんなことがあったんだよ」と話したくてたまらない相手がいること。一日の終わりには、皆でそういうのを持ち寄って夕ごはんの席に広げたい。そうやって、皆で大きくなっていきたいなあと思います。

東京都在住 編集者 31歳 (娘1歳)





ママからパパへ

---



*The Letters From Wives To Husbands*

## LOVE LETTERS

---

普段はとてとも言えないことも、手紙でなら....。

最後に、全国のママたちが心を込めて書いてくれた、  
『パパへの手紙』を紹介させていただきます。

# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

結婚して、早5年。

もっとなんと前から一緒にいたようにも感じています。子供もできて今やすっかり3人の生活になったけれど、私にとってはとても凝縮された5年間だったように思います。

本当にいろいろな意味で支えになってもらっています。時には子供みたいだなんて思う事も多々あるけども、そこがよい(?)ところなのかな....。

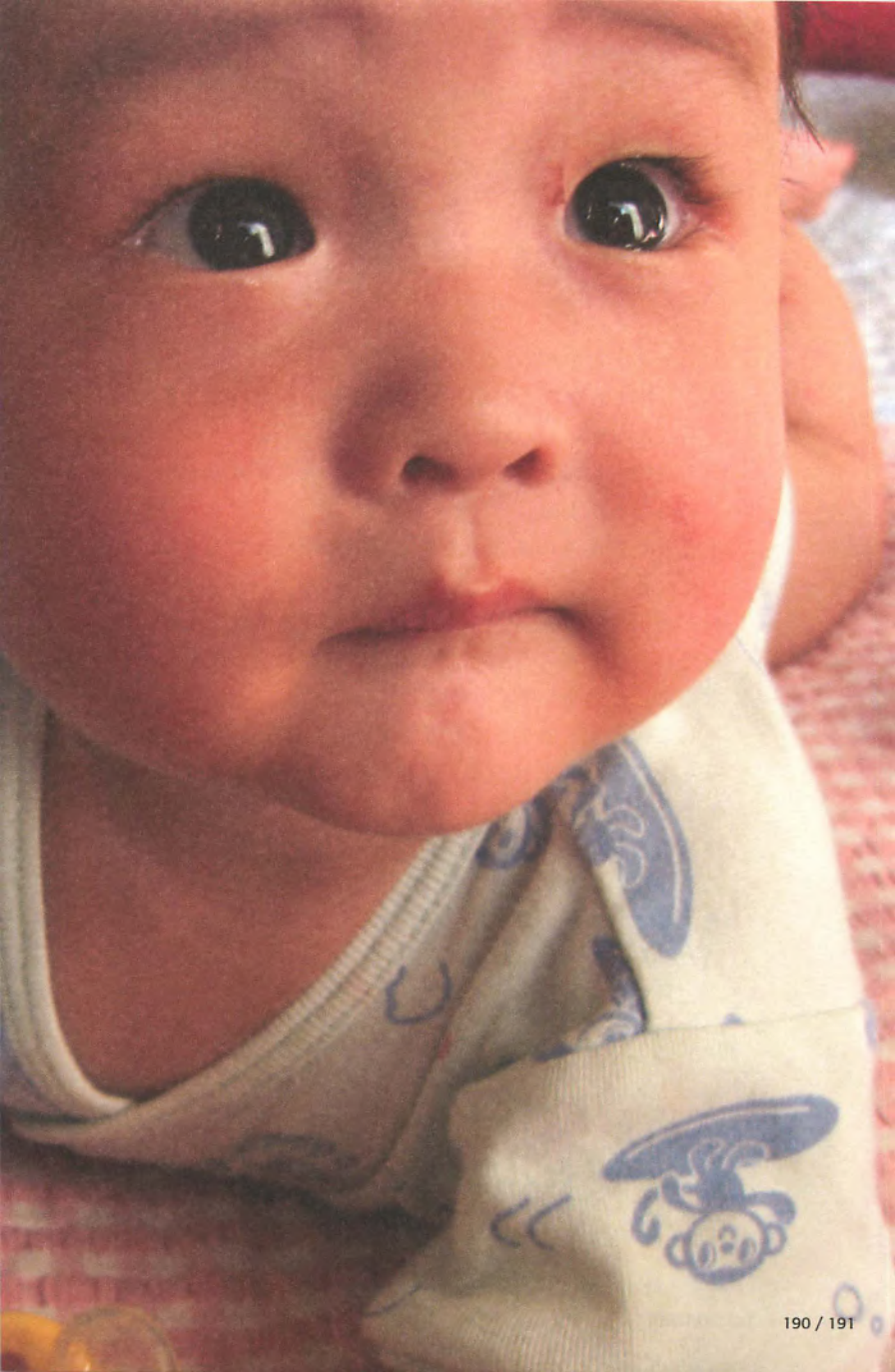
でも、いざという時にはやっぱり頼りにしています。まだまだ5年....。

この先、ぶつかる事も多いと思うけれど、今まで通りたくさん話をして、お互い足りないところは補いながら、一緒に子供の成長を見守っていきましょう。

2人だけの時間は、もう少しあとの楽しみにってっておこうね!

それから、いつもお仕事お疲れ様です。この頃は仕事も忙しそうで、すれ違いも多いけれど、あまり気負わずに頑張ってください。

これからもどうぞよろしくね!!





# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

あの子も明日で4歳になるのね。

本人は4歳になることがとても自慢のようだけど、私達もなんだか嬉しいわね。

何も秀でているところはないけれど、元気で素直ないい子になったよね。

生まれたばかりのあの子を見て「生んでくれてありがとう」と言ってくれたこと。

私が育児での失敗を反省していると、「ママはよくやっているよ。そんなことでアイツはダメになったりしないよ」と励ましてくれること。

そして何より子供をととても可愛がってくれること。

そんなことで、私は今まで子育てをしていくことが出来ました。

本当にありがとう。

これからも、子供が独立していってもずっと2人で仲良くしていきたいです。

これからもよろしくね。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

子供が嫌いと言っていたので、子供ができてもちよつと不安だったけど、今ではそんな事言ってたなんて信じられないくらいです。

掃除・ごみ捨てなんかも手伝ってくれていたけど、今では育児も手伝ってくれますね。息子に優しく、よく遊んでくれるし、おふろに入ったり、寝てくれたりします。ただちよつと甘すぎるところが....。

息子もパパが大好きで、パパがいればずっと一緒にべったり。

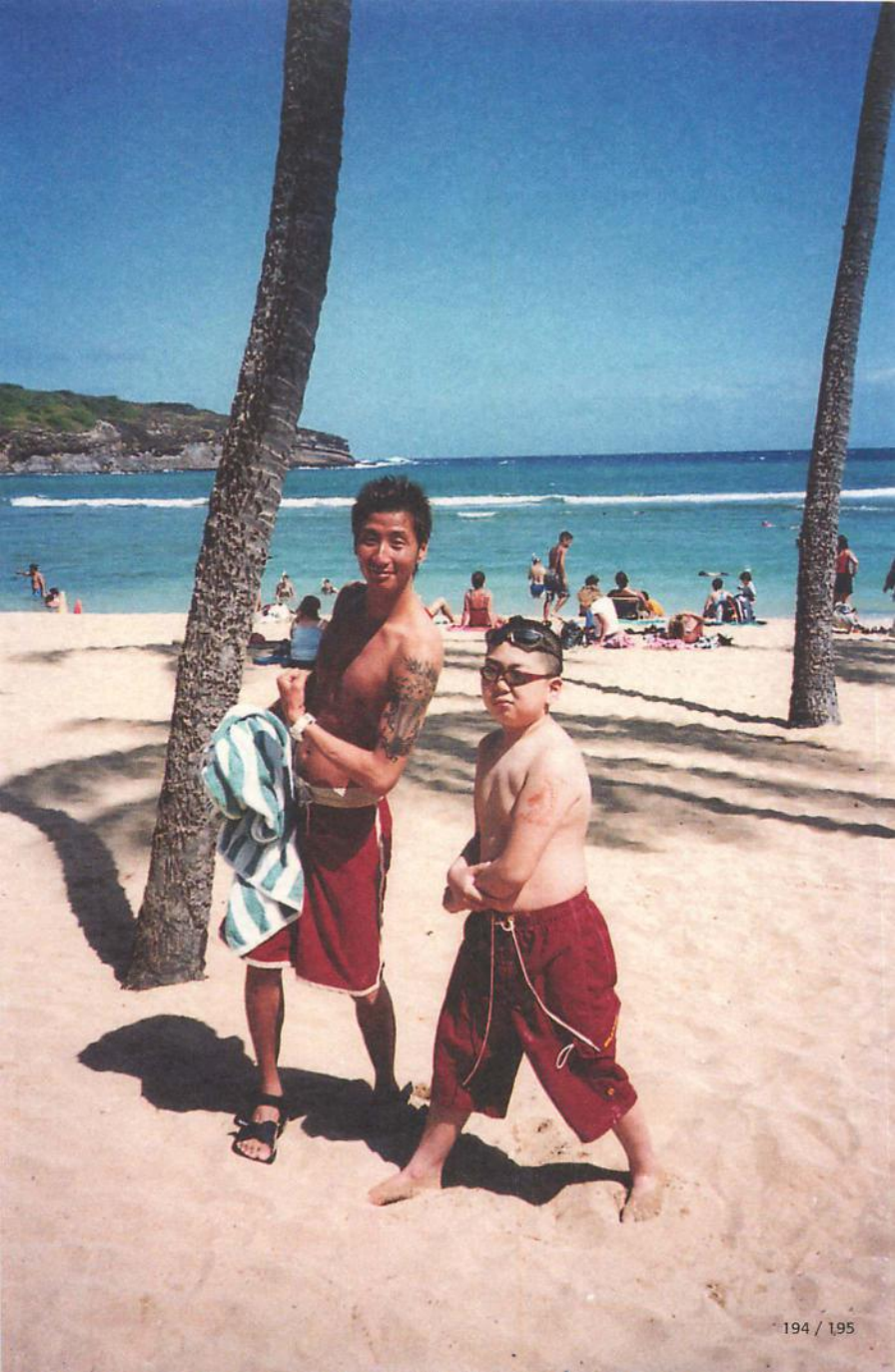
とてもうれしいけどちよつと寂しいかな。

普段はそっけなく、頭にくるし、いろいろ思うことがあるけど、家族の事を一番に考えてくれているし、支えてくれているのもわかっています。

とても辛かった時、自分も辛いのに、私と息子の事を支えてくれて本当にありがとう。

この気持ちは、これからもずっと思うことです。

とても感謝しています。でも、もうちよつと息子に接してる様に、私やまわりの人に接してくれたらな....と思います。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

いつも休みの日は龍太といっぱい遊んでくれて、本当にありがとう。

仕事で疲れていて「俺の休みがない」と言いつつも、龍太の相手をしてくれて、私は本当に助かっています。龍太もそんなパパが大好きなようで、いつもベツタリ。ちょっとヤキモチを焼いてしまいます。

家族で遊びに行ったり食事もいいけど、たまには二人で飲みに行きたいな。

これからもずっと仲良く、素敵なお家庭を作っていこうね。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear, My Husband...*

子どもたちを、だれよりも愛してくれてありがとう。

今の私は、あなたのことはずっとほったらかしだね。  
子どもたちが、大きくなったら、ふたりで出かけよう。  
出会ったころのように、楽しく過ごせたら幸せだね。

そのためにもっと話そう！ もっと笑いあおう！

あなたは、あなたのままでいいから。





# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

結婚して4年。出逢って9年。

今の私がいるのはあなたのおかげかな。

子供達がこの世に生まれて元気に育っているのもあなたのおかげ。

パパになる前のあなたも大好きだったけど、パパとなったあなたはもっと大好き。

私、きっとあなたのこと、とっってもとっっても大好きなんだね。

これから先、ずっとあなたに恋していたいな。

P.S.

一緒にいると良い事も悪い事も、愚痴りたいほど嫌なことも、そりゃあたまにあるけど、かっこつけてる訳じゃなくて、今のパパには、こんな感謝文しか書けなかった。

私ってもしかして幸せ?! なーんて♥ 幸せなんて無限だよな。毎日幸せ感じてればそれで良いか。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

結婚してもうすぐ8年になりますね。

8年間いろいろなことがあったけれど....。振り返ってみると、あっという間に月日が過ぎていった気がします。一番嬉しかったことは、子供を出産した時です。結婚して本当によかったなあと改めて思いました。結婚して2年位は、夫婦二人だけの時間を大切にしたいと思い、すぐに子供が欲しいとは思わなかったけど....。

今は二人だけの生活は考えられないです。あなたも同じ気持ちだと思います (笑)。

時々、子供を預けて二人だけで食事に行ったりする時もあるけど、結局、会話は子供の話題になっていたりしますね。すっかり夫婦というより、パパとママの関係になっていますが....。

私はあなたと子供の話をしている時が、何より幸せだし、今はそれでもいいと思っています。

あなたはどう思っていますか？

普段、あまり自分の考えなどを話してくれるタイプの人ではないので、改めて今度聞きたいなあとと思っています。まだまだ先の話だけど、これから子供が成長してまた夫婦二人だけの生活を送るようになったら、共通の趣味や楽しみが見つけれたらいいなあとと思います。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

わたし、最初は、子供が産まれて、女性だけが仕事をやめて、育児をするのは不公平だと思っていました。(世間一般に言われている様に....)

確かに家事、育児を一人でやるのは大変で、辛い時もあります。

休みの日でも、家事を手伝ってくれないパパに、頭にくる事もよくあります。

でも、今、専業主婦をやっている、24時間子供と一緒にいられるのは、とても楽しく幸せなことだと思っています。

そして、それは、やはりパパがいてくれるから....。

そう思う時は、感謝しなくちゃ♥という気持ちになります。

パパは仕事をしていて、子供といられる時間は限られてしまうので、いつも「もったいないなあ」と思います。休みの日は寝てばかりいないで、もっと子供と遊んで欲しいです。←子供のためというよりは、パパのためにね！子供とかかわる幸せをもっと知って欲しいなと思ってます。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear, My Husband...*

未来も今月で4歳。

ほんとにあつという間。1歳の誕生日、2歳、3歳と昨日の様に思い出せるね。

未来が大きくなるにつれ、私達も親として、夫婦として、成長してこれたかな？

少なくとも お互い向き合って問題を解決しようという点では、昔より、成長したよね。

でも、その姿勢って、簡単なようで難しくて。

しかも、長年一緒にいようとする2人には、すっごく大事なことだよ。それがないと先がないというか....。

環境の違う家庭で育った2人では、すれ違うのは当然だけど、基本的に2人の心がすれ違わない様に努力していれば、きっと、老いても手をとりあってるよね。

難しい事は考えられない私だけど、これからも仲良く、時には厳しくお互い成長していきましょう。





# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

たーすけさん、私からのお願いがひとつだけあります。それは、少しでも長く長く生きてほしいということです。月（ルナ）ができた時には、わからなかったことが、今では少し不安になりました。

たーすけさんが、子育ての天才だということに気が付きました。

私ひとりでは、子育てという作業はとても無理だとわかりました。

月（ルナ）とこれから生まれるこの子の為に長生きして、子供たちに、幸せな気持ちを充満させてほしいです。妻としても、母としても、中途半端でごめんなさい。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

パパはいつもお仕事でなかなかゆっくりできないけど、家ではパパの帰りを本当に楽しみに待っています。結婚してからもう5年。毎日があっという間に過ぎていくけど、パパママとして、夫婦として、これからも楽しく過ごしていこうね。

家族の絆はきっと何よりも強いはず！

これからもずっとよろしくね。



050627/0UR

00ml  
al. 4.4%  
120g, 7.4g  
0120-308509  
PET  
PET

# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

いつもお仕事ごくろうさま。

廉もどんどん大きくなり、もうすぐ3歳です。子供の成長はほんとに早い。

今までは「お母さん、お母さん」という感じだったけど、最近の廉は昼からお父さんの会社帰りを楽しみに待っています。

「早く夜にならないかなあ」「夜にしてよ！」とよく言っています。(夜になるとお父さんが帰ってくるからだそう)

そして夜のお気に入り(の遊び?)は、灯りをつけない暗い部屋の窓から静かに覗いて待っていて、帰ってくるお父さんに声をかけることです。

びっくりさせるのが楽しいみたい。

毎日帰りを待っているの、お休みの日にはたくさん遊んであげてくださいね!



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

大きい子供1人、小さい子供1人。

楽しい時、大変な時、日々あっという間に過ぎていくけど、

これからもたくさん家族の思い出を一緒に作っていきましょう。





# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

結婚して12年。2人だけの期間が長かった分、旅行好きの私達は、2人で随分とあちこちへ行きましたね。東京から車を走らせ、九州を一周旅したり、ホノルルマラソンを一緒にゴールしたり、テレビで見た景色に感動して、次の週には、カナディアンロッキーやメープル街道の景色の中に居たり……。たくさんの素晴らしい景色を見ては、一緒に感動してきましたね。

今は、4歳の祐大ともうすぐ2歳になる結理に恵まれ、フットワークはかなり重くなりました。それでも、子供にも、私にも、いつもいろんな景色を見せてくれたり、季節季節の花や、海、川、山、森と本州の端であろうと、いつも、はりきって車を走らせ、連れて行ってくれたりすること、とても感謝しています。

それなのに子供達は、どこへ行っても石ころで遊んでいたりで、「すごいだろ、感動してるかー？」と聞いても「うん、そうだね」と何気なく答えられ、しょんぼりしているお父さん。けれど、私はそれでいいのだと思います。

それはきっと、それだけ自然を身近に感じ、いろいろな景色をそのまま肌で感じとっているからだだと思います。

「どこに行きたい？」と聞けば「お山に登ってヤッホーがしたい」と言い、山で出会う人に誰より先に「こんにちは」と元気な声であいさつし、海でも山でも元気にバタ足で泳ぐ子供達の、たくましくのびのびとした姿を見ると、お父さんの思いは伝わっているんだなあと感じます。

こちらの期待通りの反応を子供がなかなかしてくれなくても、それ以上に思いもよらぬ多くの発見を教えられることがたくさんあります。

家族それぞれに、それぞれの体験があることが、また楽しいではありませんか。

そして楽しみも4倍になるように思います。今は子供達との多くの発見や体験を満喫しましょう。

いつか子供達が大きくなって、休みの日も一緒に出かけてくれなくなってしまったら、また2人でのんびりと気ままな旅行にでかけましょうね。

そして、これからもずっとずっと一緒にたくさんの景色を見ていきましょうね。

# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

いつも休みなく働いてくれて、ありがとう。  
がんばりすぎて、体をこわさない様に気をつけて下さい。  
それから、たまにはりさと遊んであげて下さい。  
いろいろパパの知っている事を教えてあげて下さい。  
りさをいろんな所へ連れて行って下さい！ また、いつか、家族でハワイに行けるのを楽しみにしています。  
(仕事ででもいいです....)

それから、私のいろいろな相談にのってくれてありがとうございます。  
また、よろしくお願い致します。  
娘の成長を、これからも2人で見守っていきましょう。  
まだまだ、かわいい時期ですよ～。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear, My Husband...*

カナダで出会ってから、15年たちました。

ゆきが産まれたとき、ゆきの寝顔を見ながら、「お父さんのような人とめぐり会って幸せになりますように」と祈った日が昨日のようです。

口の悪いなべちゃんですが、いつか喧嘩して仲直りしたとき、「あなたは、いつもそうやって笑っていればいいんだよ」と言ってくれた言葉、いつも私の心の中に響いています。

リタイアしたら、ハワイ島 or パンクーバー or ニュージーランドで過ごす日々を楽しみにしています。

それまで体に気を付けて、ゆきちゃんと匠くんのかっこいいお父さんでいて下さい。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

いつもお仕事で、ほとんどお家にいないね。  
子供たち2人は、私がしっかり育てるから、安心して  
お仕事して下さい。  
いつまでも仲良く♥、若々しく....。  
私たちの姿を見て、子供の心は育つのだあ?!  
がんばるのだー!!





# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

ママである私は、日頃からパパと子供達の間を羨ましく思っています。

私は子供達がやんちゃなことをすると、「ここできちんとおかないと」、「しっかり、しつけないと」...って、気がついたら叱ってばかり。それに比べると、パパは大らかで少々なことは笑って済ませるよね。

育児に関して、もっぱら叱り役は私で、楽しい担当はパパって感じ。おいしいところ取りで、本当に羨ましいけれど、パパが子供達と遊んでいる時って、童心に戻って、心の底から楽しんでいるもんね。

子供達が「パパ大好き！」っていうのは納得です。

思えばパパは、休みの日は子供達と公園で遊んだり、家の中の力仕事を引き受けてくれたり、子供達から見たら何でもできる頼もしい存在。たとえ、普段は忙しくても、子供達はそういうパパの姿から様々なことを感じとり、そして考えてゆくんだろうと思います。

こうして改めて考えると、子供達が天真爛漫なのは、パパの陽気で前向きな性格のおかげだね。

子供は、明るいのが一番。やっぱりパパに感謝したいと思います。そして私自身も見習うべき面がたくさんあるなあって。

素敵なおパパでいてくれて、ありがとう。

これからも変わらずにいて下さい。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

パパ♥

いつも忙しい中、子供の面倒をみてくれて本当にありがとうございます！

私が、お仕事の時は、家事の仕事までしてくれて、ありがとうございます！

(ぞうきんと下着が、洗濯機に入っていたのにはびっくりしましたが....)

いつも、元気で明るくて、楽しくて。

そんなパパが大好き♥です。

時にはぶつかり合ってしまうけど、次の日には、何事もなかったようにふるまってくれる.... 私の最高の理解者であり、世界で一番愛している人であり、世界で一番のパパであり、世界で一番の夫であります。

本当に、いつもいつも感謝しています！尊敬しています！！

いつもいつもありがとうございます。

どんな事があっても、パパが居てくれれば乗り越えられます！！

一生、感謝しています。

愛しています♥



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

早いもので、もうすぐ結婚10年目ですね。

色々なイベントが目白押しだったせいか、アツという間だった気がします。

この先も、こんな調子で歳をとっていくのかと思うと少し怖い気もするけど、優希と明音も毎日成長しているように、私達もステキなおじいちゃん・おばあちゃんになれるよう、頑張っていきましょう。

子供達にちょっと甘すぎるかな～って気もするけど、普段私が、ガミガミ言っているので、そのままの優しいパパでいてあげてください。

どんなに疲れていても、家ではいつも笑顔でいてくれてありがとう。

これからもよろしくね。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

いつもお仕事ご苦労様です。

毎日遅くまで大変だよね。

でも、私も子供達もパパの仕事が大好きです。子供が  
パパと同じ仕事をしたいと思うのって、とってもすご  
いことだと思うよ。

これからも、子供達が「うちのパパってすごいんだ  
よ!」と言えるように頑張っね。

それと、お願いがあります。

子供達とたくさん遊んで下さい。

あんなにママっ子だった子供達が、パパと遊ぶ事を楽  
しみにしているの。

なかなか時間が取れないけど、できるだけ一緒に遊ん  
でね。

子供達は、あっという間に大きくなっちゃうよ!

P.S. みんな、やさしいパパが大好きです。





# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

子ども達も小学生になり、嵐のような子育ての時期はいつの間にか過ぎていたね。

子育てによって、時間に追われ、体力的にも精神的にも余裕がなかった頃もあったけれど....。

これからは、家族の時間、そして夫婦の時間、それぞれを大切にしていきたいと思っているよ。

これからもよろしく。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

いつもお仕事お疲れさまです。

この前、私が流産して安静だった時、楓のお弁当作り、園への送り迎え.... すごい助かりました。本当はパパもこんなにできるんだ.... と、すごいびっくりしたよ。ありがとね。

今は仕事が大変で、4人ではどこにも行けないけど、少し落ち着いたら家族みんなで旅行に行こうね。

これからも、みんなで仲良く楽しくやっていきましょう。ただ、お酒は少し控えて下さい。お互いに長生きしなきゃ.... ね。よろしく。

では、これからも末永くよろしく申し上げます。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

える。パパの小さな恋人。  
いつもパパのことを想っているよね。

「これ、パパにおみやげなの！」  
ビニール袋いっぱいに園庭で拾ったイチヨウの葉っぱ。  
「これ、パパにふれじえんとなの！」  
園で描いたパパの顔。  
夜遅く帰宅したパパの机の上にはいつも、えるからの贈り物の山。

パパの行くところは、どこでも一緒。  
「えるもいくー！」  
タバコを吸いに玄関先に出るのも一緒。  
「行ってーきまー——す！」  
バスケの練習に行くときの嬉しそうな顔。  
お菓子とおモチャを詰め込んだリュックの重みもなんのその。  
えるの頭の中は、いつでもパパのことでいっぱいだね。

パパに会えない平日の夜。  
「パパのにおいがするー！」  
パパの椅子の匂いをかいで満足そうな笑み。  
「パパー！ きょう、プールはいったんだよー！」  
パパからの夕方恒例“えるコール”。  
今日の出来事を楽しそうに報告。

「パパー！ ちょっときてー！」

寝言にまでパパ登場！？

えるは将来どんな人を好きになるのかな？

「Mくんとけっこんするの！」

....あらあらあらら。

パパと結婚しないの？ パパ、泣いちゃうよー。

すると少し困った顔をして

「じゃあ、パパとけっこんしてあげるよ、もおっ！」

パパのどんなところが好きなの？

「えーとねえ....」

照れた笑顔で少し考えて

「かいしゃにいくとき！」

スーツ姿が好きみたい。

「あとねー、バスケ！」

ユニフォーム姿も好きなのね。

「えるのパパ、いちばんかっこいいー——っ！」

登園時、朝早くに外で叫ぶのは、ちょっと恥ずかしいよ。

える。パパの小さな恋人。

いつまでも、いつまでも、パパのこと大好きでいてね。

パパ。ステキな家族を、ありがとう。

大きな愛情を、ありがとう。

家族一緒に居られる幸せが、ずっとずっと続きますように。

これからもよろしくね、パパ。

# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear, My Husband...*

私の中には、あなたがふたり。

ひとり、息子の父であるあなた。もうひとり、私の夫。そして、そのふたりは我が家の大切な大黒柱となって、私や息子を日々幸せにしてくれている。

「父」であるあなたという時、気付くと私まで「お父さん」と呼んでいる。

ちょっと「違う」気もするけれど、小さな息子の前ではもうしばらく仕方が無いのかもしれない。

「お父さん」はとても厳しい。でも、それ以上に優しく楽しい。

だから息子はどんなに叱られて大泣きしても、大好きなお父さんのそばを離れない。こんな時、私はちょっとうらやましくなってしまう。

昼間、息子を独り占めできるのに、それでも足りないのかな。

お父さんと息子の大切な大好きな時間は沢山の笑顔、素敵な時間。

私は、そんな2人を見ていると幸せを感じる。

「夫」であるあなたは、私に安らぎを与えてくれる。

「夫」は真面目で厳しくて、でもそれ以上に優しくて

楽しい。

落ち着きが無く早とちりの私をいつも冷静に見守ってくれている。

私は結局、全てを夫に頼っている。少しくやしい....  
けれど、それで成り立ってる。

私はあなたに何でも話す。あなたはそれをきちんと聞いてくれる。

だから全てを相談し、子育ても決してひとりではない。  
大好きなあなたと息子がいてくれる。

だけれど、この頃、思うことがある。

たまには、私も息子の様にあなたと手をつないだり甘えたりしたいな。

「父」ではなくて「夫」のあなたとゆったりとした時間を過ごせるのはいつなのか。

まだしばらくはふたりのあなたとの時を息子と3人で楽しみたいと思いながら、心にしまっておくことにしようかな。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear, My Husband...*

毎日、あたりまえの様に働いてくれているけど、本当にありがとう。

最近あなたがいて子供がいて、私は幸せだなんて心で感じるようになったよ。

運命だとか赤い糸だとか... 言い方はいっぱいあるけれど、結婚したら相手に対してどれだけ素直に心を開いていけるかが私にとって大切だったんだ。

自分一人でがんばっても、心を裸にしないからずっと苦しかったんだ。

そのことに気がつかないでいてごめんね。

これからは「心に素直に、正直に」を忘れずに一緒にがんばってゆきたいです。

これまでの私達に起きた出来事に感謝、出会った人達に感謝、共に生きてゆける事に感謝です。

この家で色々な事を学んでゆきましょう。



# LOVE LETTERS

The letters from wives to husbands.

*Dear. My Husband...*

パパ いつもありがとう。

パパ、毎日遅くまでお仕事ご苦労様。

(そんな事、言葉では言った事ありませんね)

侑也と隼也が生まれてからは、子供の事ばかりで、感謝の気持ちすら伝えた事がなかったです。子育てをしていると、イライラする事が多く、パパに八つ当たりする事も多いのですが、パパはいつも優しく受け止めてくれ、子供と私の事を一番に考えてくれますね。

“ありがとう”。

子供達もそんなパパが大好きです。

これから長い人生、色々あると思うけどよろしく願います。





forever.







## Interviewer's Note

### 取材後記

この本を制作するため、この夏から秋にかけて、本当にたくさんの子どもたちと出逢い、触れ合いながら、お話をしました。

はじめは、子どもたちが心を開いてくれるのか、ちゃんとお話をしてくれるのか、とても不安でしたが、実際にインタビューをはじめると、すぐにそんな不安はなくなりました。意外にも、すぐに子どもたちと仲良くなることができましたのです。一緒になって真剣に遊びながら、笑い合いながら、ゆっくりとお話をしました。内緒話もたくさん聞かせてくれました。みんなの言葉を聞いていると、どの子どもも、両親からのたくさんの愛を注がれて育っているのが、よくわかりました。

「パパのこと好き？」と聞くと、みんな口をそろえて「大好き！」と素直に答えてくれました。「パパはかっこいい」「パパみたいに強くなりたい」「パパは優しい」とまっすぐに、迷いもなく答える子どもたち。正直、驚きました。私がこの子たちの年齢のときに、知らないお姉さんが来て、「パパのこと好き？」と質問されたとしても、きっと素直に話せなかったんじゃないかと思います。

子どもたちと、公園で走り回って遊んだり、ジャングルジムに登ったり、おうちで遊んだり、戦いをしたり…。本当にたくさんの楽しい思い出ができました。最初は、恥ずかしがっていた子どもたちも、帰る頃には、「私たちお友達だね」「絶対また遊びにきてね！」と言って、見えなくなるまで手を振ってくれたり、私の絵を描いてプレゼントしてくれたり、お手紙を書いてくれたりしました。毎日が感動の連続でした。

もちろん、全員初対面です。インタビューする側である私も、毎回緊張していました。でも一緒に時間を過ごしたあとは、とてもすっきりした気分になって、いつも元気ももらって帰っていました。

年齢はとっても離れていますが、みんな大切なお友達です。この夏、こんなにたくさんのお友達ができたことは、一生の宝物になりそうです。これから、みんなの成長がとても楽しみです。

最後に紹介させていただいた、ママからパパへの手紙。ここでも今まで私の中にあった、「家族のあり方」を覆されました。家事を手伝ってくれるパパ。自分の時間を削ってまで子どもと遊ぶパパ。そして、子どもばかり可愛がるパパに対してやきもちを焼くママ。手紙を読んだり、たくさんのママたちとお話しをしたりして、本当に家族の温かさ、素晴らしさを感じました。

この取材を通してよく思うことがありました。それは、自分の親への感謝です。

自分と同世代の人たちが、こうやって、ママやパパになって子どもに愛を注いでいる姿に触れ、「私も、こうやって愛されながら育てられたんだな」とすごく感じました。そう考えると、中学生、高校生のときに反抗していた自分がすごく恥かしくなりました。

ごめんね。お父さん、お母さん。そして、本当にありがとう。

お母さん、お父さんを好きになってくれてありがとう。私を生んでくれてありがとう。

お父さん、いつもお母さんを支えてくれてありがとう。見守ってくれてありがとう。

そして、これまで私を大事に育ててくれて本当にありがとう。

ふたりとも、私の中で一番大切な存在です。これからは私の方から、どんな形になるかわからないけど、少しずつ返していきたいと思っています。

取材に協力してくださった、かわいいお子様をお持ちのパパ・ママの皆さん、忙しい時間を割いてご協力していただき、本当にありがとうございました。心より感謝いたします。

そして最後に、この取材を通して一番に感じたこと....

私も、皆さんみたいな幸せな家庭を早く持ちたいです！

2004年10月18日 森木妙子

おわりに

この本の制作に関わってくださった、すべての皆様に感謝します。  
本当にありがとうございました。

編集スタッフ一同、1冊の本を創っていく過程で、これほど多くの感動を得られたことは、初めてかもしれません。  
心から、感謝の気持ちでいっぱいです。

父親って、素晴らしい。  
そして、家族って、素晴らしい。

One Love.

「Factory A-Works」スタッフ一同  
2004年11月5日











## ご協力者一覧（五十音順、敬称略）

たくさんの方々のご協力により、本書は創り上げることができました。  
ご協力いただいた方々に心より感謝いたします。  
本当にありがとうございました。

### 編集部

---

阿保友和・新井慶二・新井まゆみ・新井さくら・石丸真由子・市川聡  
磯尾克行・岩崎良二・岩崎あゆみ・岩崎洋斗・岩崎海斗・岩崎あすみ  
岩崎佳寿実・畝狭啓之・梅中伸介・えいこママ・大木友栄・大木麻美  
岡田亜希子・楓ちゃんのパパ、ママ・上條康美・河原井正志・河原井緑  
河原井貴志・菊地みや子・日下綾乃・日下翔馬・熊谷敦子・熊本篤嗣  
熊本弘子・熊本晃典・敬太郎くん、里奈ちゃんのパパ・けんちゃん  
こうたくんのママ・国分真紀子・小谷真希・小林一彦・小林一道  
小林成彦・櫻井真澄・佐々木春仁・貞島真理・佐藤大吾  
しょうたろうくんのママ・庄野淳一・庄野直美・菅原亜希・須藤淳  
瀬谷友紀・そうたくんのママ・だいすけくんのママ・太一くん・高島絵里  
滝口光世・滝口凜太郎・滝口穂高・瀧島夏子・ただとパパ・田中純子  
千葉勝則・千葉朱美・ともかちゃんのパパ、ママ・なおちゃん・長友清  
中西康晴・中西ジュリア・那須研吾・那須京子・成田知記・成田夕子  
成見宏樹・難波恵・難波元康・西田明美・西田結理・野口ゆき・野口陽路  
野田訓・野田敏子・袴田優子・服部里絵・林美緒子・原哲也・原洋子  
平田聖子・船田伸二・古畑良樹・前川祐一郎・宮本玲子・もっちー  
森北博子・山口剛正・山口香苗・山本 清一・山本智子・山本千豊  
ゆうきくんのママ・横山竜介・吉田肇・吉田夕希子・吉田祥大・吉田千馬  
りさちゃんのお父さん、お母さん・るなちゃんのパパ、ママ・ろーそんSun  
渡部靖隆・渡部清美・渡部匠

---

Thank you for your kindness....



# PAPA BOOK

The Messages from Children & Mothers To fathers.

Interviewer Taeco Moriki

Edited By A-Works

## パパ・BOOK

2005年1月29日 初版発行

制作 A-Works  
デザイン 高橋 実 Minoru Takahashi  
文・編集 高橋 歩 Ayumu Takahashi  
滝本 洋平 Youhei Takimoto  
取材 森木 妙子 Taeco Moriki  
経 理 二瓶 明 Akira Nihei

装丁イラスト John Lennon

写真 須田 誠 Makoto Suda  
大石 啓士 Keishi Oishi  
森木 妙子 Taeco Moriki  
高橋 実 Minoru Takahashi  
中川 宗典 Hironori Nakagawa

発行者 高橋 歩

発行・発売 株式会社 A-Works  
東京都新宿区荒木町13-9 サンワールド四谷ビル 〒160-0007  
TEL: 03-3341-5026 FAX: 03-3341-3329  
URL: <http://www.a-works.gr.jp/> MAIL: [info@a-works.gr.jp](mailto:info@a-works.gr.jp)

営業 株式会社 サンクチュアリ・パブリッシング  
TEL: 03-5369-2585 FAX: 03-5369-2536

印刷・製本 中央精版印刷株式会社

※本書の無断転写・複製・転載を禁じます。

PRINTED IN JAPAN

ISBNコードはカバーに表記しております。  
落丁本、乱丁本は送料負担でお取り替えいたします。

Illustration by John Lennon © 2004 Yoko Ono Lennon  
License obtained through Produce Centre, Co., Ltd., Tokyo